

## PACIS 2017

河合亜矢子 (かわい あやこ)  
学習院大学経済学部

### 1. はじめに

2017年7月17日(月)～20日(木)の4日間にわたり、マレーシア、ランカウイ島の Meritus Pelangi Beach Resort & Spa において、PACIS (Pacific Asia Conference on Information Systems) 2017 が開催されました。PACIS は、経営情報学分野において世界で最も権威のある学会、AIS (Association For Information Systems) のアジア太平洋地域にフォーカスした国際会議です。最近では毎年、アジア太平洋地域はもとより世界中から研究者・実務家をあわせ 500 人以上が参加しています。

ランカウイ島はケダ州の宝石ともいわれ、大小合わせて 103 もの島々からなる、美しい海と太古の森に囲まれた自然豊かな美しい島です。島々に伝わる多くの伝説、地質の世界遺産とも言われる世界的に貴重な地形や地質に恵まれた3つのジオパーク、毎日場所を変えて開かれるナイトマーケットなど魅力溢れるスポットやアクティビティに加え、地元住民の穏やかでホスピタリティ溢れる人柄に癒されるリゾートアイランドでした。本稿では PACIS 2017 を振り返ってみます。

### 2. PACIS 2017

PACIS はランカウイ島の南西、美しい純白の砂浜を有する Meritus Pelangi Beach Resort & Spa で開催されました(写真1, 2, 3)。会場となったリゾートホテルからはダイヤモンドのような日の出とルビーのような日没を拝むことができます。

大会委員会による公式発表では、今年の参加者は 369 人、日本からの参加者数は国別 5 位タイの 22 人だったとのこと。発表の申し込みはポスター発表も含めて 543 本(日本からは 34 本)あり、そのうち採択されたものが 241 本(採択率 44.3%)



写真1 PACIS 会場 (画像:Booking.com)



写真2 PACIS 会場の正面



写真3 PACIS 発表会場

でした。投稿論文の分野を見てみると、18 trackのうち、Social media usage and impactに71本、Electronic and mobile businessに47本、IS security and privacyとIS implementation, adoption and diffusionにそれぞれ40本、Business intelligence/analyticsに36本、Social transformation through IS/ITに32本などが上位を占めていました。

初日の7月17日から午前・午後ともに5本ずつの平行セッションとポスターセッションが、夕方からは砂浜でのWelcoming Dinnerが催され、ドローンによる集合写真の撮影や、ミュージシャンの演奏、大迫力のファイアーダンスショーなどが行われました(写真4)。第2日目の18日には早速、2つの基調講演が行われました。午前中のスピーカーは2015年よりMalaysian Communications and Multimedia Commissionの会長を務めるHalim Shafie氏(題目: Digital Transformation from Malaysian Perspective)、午後はミネソタ大学の教

授で、Information Systems Research (INFORMS)のEditor-in-chiefを務めるAlok Gupta氏(題目: Publishing Societal Impact Research in IS/IT in Top Journals)でした。第3日目の19日には盛大なGala Dinner(アルコールは一切なし!)が開催され、Best Paper Awardに引き続き、伝統芸能などの素晴らしいショーが催されました。最終日はローカルツアーが開催されましたので、17日から19日までの3日間、多くの素晴らしい研究発表と活発なディスカッションが繰り返されました(写真5)。詳しいプログラムは大会のWebサイトを御覧ください[1]。筆者が特に印象的だったのは、ポスターセッションの賑わいです。ランチ会場がポスターセッションの会場を兼ねていたこともあり、たくさんの人たちがポスターの前で足を止め、発表者と会話を交わす姿がしばしば見受けられました。

### 3. PACIS 2018に向けて

本学会主催で2018年6月に横浜で行われるPACIS (Pacific Asia Conference on Information Systems) 2018をプロモートするため、日本からの参加者は大会期間中、おそろいの大会ロゴ入りTシャツを着用して過ごしました。その他、ロゴ入りのクリアファイル、ボールペン、付箋紙などをネットワークランチ会場の宣伝ブースに配置して本学会担当委員がPRしていました(写真7)。ボールペンや付箋紙は配置した途端になくなってしまったという人気で、大会案内をはさんだクリアファイルも大会最終日の昼過ぎにはすっかりなくなってしまい、



写真4 ファイアーダンスショーの様子



写真5 研究発表を行う日本からの参加者



写真6 賑わうポスター発表会場



写真7 案内ブースで説明に耳を傾ける参加者



写真9 会場にて記念撮影する筆者



写真8 壇上に立つ木嶋会長ら

PACIS 2018 への関心の高さが伺えます。

また、第3日目の Gala Dinner では木嶋会長らが壇上で、来年6月に横浜で開催される PACIS2018 の紹介をし(写真8)、Keynote スピーカーが発表されると、会場からは歓喜のざわめきが起きました。

PACIS2018 についての詳細は大会 Web サイトを御覧ください [2]。

#### 4. おわりに

筆者にとっては今回が初めての PACIS 参加とな

りました。マレーシアは女性が元気で、とても勢いのある国だなという印象を受けました。多くの女性研究者が会議で積極的に研究発表を行っており、発表中にはお父さんが子供のお世話をしている姿もしばしば見かけました。とてもイイネ!と思いました。あちらのセッション、こちらのセッションと渡り鳥のように、貪欲に発表を見て回り、さまざまな刺激を受け、素晴らしい出会いを得ました。PACIS2018、横浜での再会とまた新たな出会いがたくさんありますようにと願って止みません。

#### 参考資料

- [1] PACIS2017, <http://www.pacis2017.org/>
- [2] PACIS2018, <https://pacis2018.jp/>

#### 略歴

##### 河合亜矢子 (かわい あやこ)

2000年筑波大学第三学群社会工学類卒業、物流企業での勤務を経て2004年筑波大学大学院システム情報工学研究科博士前期課程社会システム工学専攻修了。博士(工学、2007年筑波大学)。2010年高千穂大学経営学部助教、2014年より准教授、2017年より学習院大学教授。